

2011年5月20日

北海道開発局長 高松 泰 様
北海道開発局室蘭開発建設部長 上西 隆 広 様
北海道開発局旭川開発建設部長 本田 幸 一 様

北海道脱ダムをめざす会
サンルダム建設を考える集い 代表 渋谷静男
平取ダム建設問題協議会 代表 松井和男
他 14 団体

北海道開発局との話し合いを求める要請書

東日本大震災対応で多忙な日々を過ごされていることと推察いたします。

さて、私たちは3月30日付の要望書で、サンルダムと平取ダムの検討の場が、実際にはダム建設要望の場であり、本来の役割を果たしていないこと、および北海道開発局の説明に質すべき問題があることを指摘しました。そのうえで以下の4点について要請しました。

1. 残事業費の取り扱いについて、東北関東大震災の復旧予算との関連についてのお考えをお示し下さい。
2. 各首長は、検討の場の構成員としての役割を果たしていただくよう要請します。
3. 検討の場において、構成員である首長と異なる意見をもつものの発言と意見交換の実現を要請します。
4. 開発局は、検討の場で述べられたことについての質問にできるだけ早く回答していただくようお願いいたします。

4月28日付でご回答をいただきましたが、「国交省の指示に基づき個別ダムの検証を進めてまいります。」という当たり前の内容で、私たちの要望には何一つ触れないものでした。約1か月検討されたとは考えられない内容です。文書でのやりとりには限界があることは明らかです。このまま、何ら説明なしに次の検討の場が開催されることは、私たちの疑問に答えないまま検討を進めることとなります。行政として求められる説明責任を果たさないまま、批判的意見を無視してダム建設を強行するということになりかねません。そこで、以下の要請をいたします。

2011年6月6日までに、またはそれ以前に次回検討の場を開催する場合にはその前に、脱ダムをめざす会の事務局を担当している北海道自然保護協会（〒060-0003 札幌市中央区北3条西11丁目、加森ビル6F、Tel：011-251-5465。FAX：011-211-8465）宛に、文書によってご回答いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

要請事項

次回検討の場開催前までに、北海道開発局と私たちとの話し合いを実現すること